

令和4年(2022年)度年間授業計画表									
学年	1	科・系	全学科	単位	2	教科	地理歴史	科目	地理総合
使用教材	東京書籍「地理総合」 帝国書院「標準高等地図」 第一学習社「最新地理図表GEO 四訂版」								
学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。								
単元と内容									
1 学期	第1編地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 第3章 資料から読み取る現代世界			地図の役割や有用性を理解するとともに、位置や分布などに着目して、					
				地図やGISの活用方法について考える。また、国際社会における国家					
				の役割を理解し、地域間のさまざまな相互関係について考察する。					
2 学期	第2編国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力			場所や人間と自然の関わりなどに着目して、世界各地の生活文化の					
				特徴を理解し、その多様性や変容の要因について考える。					
				また、他地域との結び付きや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるために、今後必要となる取り組みや国際協力について考察する。					
3 学期	第3編持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望			人間と自然の関わりや地域の特徴に着目して、地域性を踏まえた自然					
				災害への備えや対応の重要性について考える。また、他地域との結び					
				付き、地域の成り立ちや変容などに着目して、生活圏が抱える地理的な課題を探究し、社会参画の在り方について考える。					
評価									
評価の観点				評価の趣旨					
①	知識・技能			地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。					
②	思考・判断・表現			地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
③	主体的に学習に取り組む態度			地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。					
評価方法	①		②		③		年間時数		
	1 ペーパーテスト点数 2 学習ノートの評価 (ノートづくりの技術)		1 ペーパーテスト点数 2 学習ノートの評価 (まとめ方) 3 課題レポート発表		1 学習ノートの評価 (自主学習部分) 2 課題レポート提出		予定		
							70 時間		
							1単位＝35H		
置賜農業育てる能力		自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 生きる力 知識技能 社会貢献							